

平成28年度第3回平塚市地域包括支援センター運営協議会会議録

日時：平成29年3月23日（木）
10時00分～11時30分
場所：平塚市役所本館710会議室

出席者

（出席委員）

中村委員、高橋芳広委員、森委員、池澤委員、今村委員、今井委員、高橋國明委員、尾上委員、平林委員、三橋委員（10人出席）（上野委員、津島委員、柴野委員3人欠席）

（事務局）

中村福祉部長、岸高齢福祉課長、杉山介護予防担当長、岩本高齢福祉担当長、永原主査、長谷川主任

（オブザーバー）

地域包括支援センターひらつかにし 深堀管理者
地域包括支援センターとよだ 高野管理者

開会

1 福祉部長あいさつ

2 議題

（進行は高橋國明会長）

議事に入る前の報告事項

過半数の委員が出席しており、平塚市地域包括支援センター運営協議会規則第5条第2項により過半数の出席を満たしておりますので会議は成立いたします。また、平塚市情報公開条例第31条により公開となっており、会議の傍聴につきましては、平塚市附属機関の会議の公開に関する要綱のとおり、取り扱うことといたします。会議の傍聴者は0名。

議題（1）地域包括支援センターの事業報告（平成28年度下半期）について

<事務局>

資料1に基づき説明。

<意見・質問>

<委員>

各包括支援センターともに前期より後期の方が計画通りできているように感じる。特に包括支援センターみなとは、開設したばかりではあるが順調に進んでいるように感じる。報告内の項目に支援における地域包括ケアシステムのネットワーク構築・活用は、医療機関等とのネットワークづくりの推進と密接につながっていると感じます。

地域ケア会議について私の地区では、会議を行うが、単発の会議になってしまい課題解決につながっていないように感じる。

<地域包括支援センターとよだ 管理者>

地域包括ケアシステムのネットワーク構築・活用は、大変重要だと感じております。地域の医療機関に訪問し、地域の行事に参加しております。そのような中でできるだけ地域の社会資源等を発掘し、地域の関係者との関係づくりを行っております。

<委員>

地域包括ケアシステムのネットワーク構築・活用には、医師の介護に対する理解が必要だと感じます。いかに医師が介護に関して関心を持ってもらうかが大変重要だと感じます。

<地域包括支援センターひらつかにし 管理者>

先ほど言われたように、医師が介護に関して関心を持ってもらうかが大変重要だと感じていますが、介護保険の制度改正が頻繁にある中で医師に介護保険制度を理解してもらうのはなかなか難しいと感じます。

<事務局>

平成29年度から機構改革により地域包括ケア推進課が新設されます。その中で医療・介護連携推進担当が在宅医療・介護の連携の推進を行っていきます。

議題（2）平成29年度包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る方針について

<事務局>

資料2に基づき説明。

<意見・質問>

<委員>

認知症初期集中支援チームを受託した法人について、平塚市内には、認知症の専門医が少ないと感じる。

<事務局>

来年度から始まる事業であるので、様子を見ていきたいと思えます。

<委員>

在宅医療・介護連携支援センターについて専門職の常勤職員2名とのことだか、困難事例等を対処するにあたり人員が少ないので他機関の協力が無いと困難事例を解決するのは難しいと思えます。また、在宅医療・介護連携支援センター職員2名について、高いスキルが求められると思えます。

<事務局>

在宅医療・介護連携支援センターの業務については、市、医師会等が協力していきながら進めていく予定であります。

議題（3）平塚市高齢者福祉計画（介護保険事業計画[第7期]）策定に係るアンケートの実施結果について（速報）

<事務局>

資料3に基づき説明。

<意見・質問>

<委員>

高齢者本人だけにアンケートを取るのではなく、介護する側のアンケートも必要なのではないのでしょうか。

<事務局>

今回実施したアンケートの中で要介護等認定者調査、特別養護老人ホーム待機者調査というのがありますが、その中で高齢者本人とは別に介護者についての設問を設けております。

<委員>

包括支援センターを知らない人が多いと思います。地域包括ケアシステム構築のためにも包括支援センターのPRを広報ひらつか等に掲載した方がよいと思います。

<事務局>

包括支援センターの周知については、各包括支援センターの管理者も協力して行っている。また、広報ひらつかのコラム欄に平成29年度、連載を行う予定でおります。

<委員>

65歳以上の方に包括支援センターを知ってもらうことは、重要だと思いますが介護を行う子供や孫達に対して周知することが大変重要だと感じます。晩婚化している中、子育てをしながら介護を行うケースがあると思う。このような中で包括支援センターのパンフレットを子育て世代の目に触れる場所や市内の企業等に配布するのは良いのではないのでしょうか。

<事務局>

周知方法について今後検討していきたいと思います。

議題（4）平塚市地域包括支援センターの増設について

<事務局>

資料4に基づき説明。

<意見・質問>

なし

議題（5）平塚市地域ケア推進会議

<事務局>

資料5に基づき説明。

<意見・質問>

なし

3 その他

事務局から特になし

<会長>

以上をもちまして、平成28年度第3回目の運営協議会に係る事項はすべて終了しました。委員の皆様

さま、どうもありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

<事務局>

各委員の皆様には、お忙しい中お越しいただき、貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。これで、平成28年度第3回平塚市地域包括支援センター運営協議会を終了いたします。ありがとうございました。

以 上